



令和4年

別府市特別功労表彰

11月3日「文化の日」、別府市は市政の振興、公共の福祉増進や文化の向上などに貢献された方の功績をたたえ表彰しました。
「特別功労表彰」を受賞された8人1団体の方々、「功労表彰」を受賞された34人3団体のの方々を紹介します。（順不同）

狩生 勝子さん



昭和51年からボランティアグループ「野花の会」に属し、現在では会長として高齢者や障がい者施設などへのボランティア協力や福祉相談・悩み相談などの活動を精力的に行っており、地域福祉の向上に寄与された。

平石 榮二さん



平成9年に別府市立山の手立図書館長、別府市青少年育成協議会副会長、子ども読書活動推進計画策定委員などを務め、子どもや青少年の健全な育成に大きく寄与している。また、別府市協働のまちづくり推進委員、別府市自治委員会副会長なども務め、地域社会の維持及び形成に貢献されている。

塩地 奎三郎さん



東荘園自治委員、別府市自治委員会緑丘地区支部長、同委員会会長、そして大分県自治会連合会副会長として本市における住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努め、別府市全体の自治活動を長年にわたり推進し、地域の自治向上や福祉増進に寄与された。

矢田 晏祥さん



平成9年から平成11年まで歯と口の健康週間行事を行い、別府市民の歯科治療及び歯科保健の普及啓発を行った。また、市民健康教室を開催し、地域住民の歯科保健向上に寄与し、別府市民のため、別府市歯科医師会会員に理解を求めるとともに、地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動などの普及向上に貢献された。

恵良 寧さん



平成15年から別府市固定資産評価審査委員会委員を10年歴任され、公平公正に職務を遂行し、本市の税行政に多大な貢献をされた。また、優れた識見を有し、平成24年から別府市代表監査委員の職に就き、10年にわたり国税に携わった経験及び税理士としての経験から、本市の要職を歴任し、市政発展に寄与された。

渡邊 祥夫さん



別府市陸上競技協会理事として会の運営・発展に寄与されている。特に一般の方を対象にスロージョギング教室を開催し生涯スポーツを推進された。また、自身も長距離選手、県内一周駅伝の監督・選手として活躍し、3回の準優勝に貢献された。指導者としても優秀な成績を収めており、陸上競技の普及、競技力向上に貢献されている。

岩見 圭祐さん



別府市医薬品小売協同組合理事長として、寝たがりの高齢者のための医薬品引換券事業などの推進に尽力されたほか、別府市社会福祉協議会と連携した「地域のおくすりやさんの相談窓口」事業の開始や公益社団法人大分県医薬品登録販売者協会会長としての薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」運動への取組など地域福祉の向上に貢献されている。

和田 修さん



平成16年に大分県建設業協会別府支部理事に就任。平成28年5月から同支部長に就任。就任直後より同年4月に発生した熊本地震被害の対応にあたり、被災者への積極的な関わりを会員へ周知するなど、迅速な復旧復興に貢献された。また、平成30年からは大分県建設業協会の副会長も務めており、本市及び大分県の建設業界の発展に寄与されている。

鉄輪愛耐会



昭和59年の発足時からオリジナル焼酎を販売し、その収益を生かしたまちづくり活動を行っている。平成4年に始めた「鉄輪俳句筒・湯けむり散歩」では、市民や観光客に湯けむり情緒を詠んでもらい、年間最優秀句の句碑の建立を30年にわたり続けてこれられ、俳句を通じて本市の文化発展に貢献された。

令和4年

別府市功労表彰

(敬称略・順不同)

自治部門

佐藤進蔵 田尾光則 住原昭一
廣津強 小野正春 矢野榮一郎
吉野正幸 後藤敏之 糸永洋兒
松本多嘉久 井上隆喜 樽見孝夫

公共福祉部門

西原光彦 本音會 首藤恵子
山口誠治 江川忠行 大旗良丈
安部定文 原井清孝 勝木毅
加藤慎也 赤峰善行 園田政広
原田かほる

教育・文化・スポーツ部門

西林雄二 別府莊園古戦場太鼓
三ヶ尻勝 藤内広三 蒲生健児
金丸和浩

市民活動部門

永尾福康 西尾恵吾 堀重男
亀川の町おこしグループ「さんもく会」
山本一郎 草野浩三

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	かりう かつこ 狩生 勝子
役職等	ボランティアグループ野花の会 会長
功績内容	昭和51年からボランティアグループ「野花の会」に属し、現在では会長として高齢者や障がい者施設等へのボランティア協力や福祉相談・悩み相談などの活動を精力的に行っており、地域福祉の向上に寄与された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	ひらいし えいじ 平石 榮二
役職等	別府市公民館運営審議会 会長 別府市立図書館運営協議会 会長
功績内容	平成9年に別府市立山の手中学校校長を退職後、別府市立図書館長、別府市立児童館長、別府市青少年育成協議会副会長、子ども読書活動推進計画策定委員などを務め、子どもや青少年の健全な育成に大きく寄与している。また、別府市協働のまちづくり推進委員、別府市自治委員会副会長なども務め、地域社会の維持及び形成に貢献されている功績は多大である。

氏名 (敬称略)	しおち けいざぶろう 塩地 奎三郎
役職等	前別府市自治委員会 会長 前自治委員会緑丘地区 支部長
功績内容	東荘園自治委員、別府市自治委員会緑丘地区支部長、同委員会会長、そして大分県自治会連合会副会長として別府市における住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努め、別府市全体の自治活動を長年にわたり推進し、地域の自治向上や福祉増進に寄与された功績は多大である。

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	^や ^だ 矢田 ^{やすよし} 晏祥
役職等	元別府市歯科医師会 会長 元別府市歯科医師会 監事
功績内容	平成9年から平成11年まで歯と口の健康週間行事を行い、別府市民の歯科治療及び歯科保健の普及啓発を行った。また、市民健康教室を開催し、地域住民の歯科保健向上に寄与し、別府市民のため、別府市歯科医師会会員に理解を求めるとともに、地域住民に対する歯科治療や学校歯科保健活動、歯科保健公衆衛生の普及向上に寄与された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	^え ^ら 恵良 ^{やすし} 寧
役職等	元別府市固定資産評価審査委員会委員 前別府市代表監査委員
功績内容	平成15年から別府市固定資産評価審査委員会委員を10年歴任され、公平公正に職務を遂行し、別府市の税行政に多大な貢献をされた。また、優れた識見を有し、平成24年からは別府市代表監査委員の職に就き、10年にわたり国税に携わった経験及び税理士としての経験から、本市の要職を歴任し、市政発展に寄与された功績は多大である。

氏名 (敬称略)	^{わたなべ} 渡邊 ^{さちお} 祥夫
役職等	別府市陸上競技協会 理事
功績内容	別府市陸上競技協会理事として会の運営・発展に寄与されている。特に一般の方を対象にスロージョギング教室を開催し生涯スポーツを推進された。また、自身も長距離選手として県内一周駅伝の監督・選手として活躍し、3回の準優勝に貢献された。指導者としても優秀な成績を収めており、陸上競技の普及、競技力向上に貢献されている功績は多大である。

特別功労表彰

氏名 (敬称略)	いわみ けいすけ 岩見 圭祐
役職等	別府市医薬品小売協同組合 理事長 公益社団法人大分県医薬品登録販売者協会 会長
功績内容	別府市医薬品小売協同組合理事長として、寝たきりの高齢者のための医薬品引換券事業や重度障がい者等のための紙オムツ低価格斡旋事業の推進に尽力されたほか、別府市社会福祉協議会と連携し「地域のおくすりやさんの相談窓口」事業を開始するなど、地域福祉の向上に貢献されている。また、公益社団法人大分県医薬品登録販売者協会会長として、長年にわたり薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」運動や薬の正しい使い方などの啓発活動に取り組まれた功績は多大である。

氏名 (敬称略)	わだ おさむ 和田 修
役職等	大分県建設業協会別府支部 支部長 大分県建設業協会 副会長
功績内容	平成16年に大分県建設業協会別府支部理事に就任。平成28年5月から同支部長に就任。就任直後より同年4月に発生した熊本地震被害の対応にあたり、災害対策本部会議への出席や、被災者への積極的な関わりを会員へ周知するなど、迅速な復旧復興に貢献された。また、平成30年からは大分県建設業協会の副会長も務めており、別府市及び大分県の建設業界の発展に貢献されている功績は多大である。

氏名 (敬称略)	かななわ あいちゅうかい 鉄輪愛酎会 (代表 河野 忠之)
功績内容	昭和59年の発足時からオリジナル焼酎を販売し、その収益を活かしたまちづくり活動を行っている。平成4年に始めた「鉄輪俳句筒・湯けむり散歩」では、市民や観光客に湯けむり情緒を詠んでもらい、年間最優秀句の句碑の建立を30年にわたり続けてこられた。俳句を通じて別府市の文化発展に貢献された功績は多大である。

功労表彰

自治部門（12名）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
さとう しんぞう 佐藤 進蔵	平成23年から現在まで別府市農業委員会の委員を務めている。別府市の特色である温泉熱を利用した花き栽培に取り組み、農業者の代表として積極的に別府市の農業振興に寄与するとともに、認定農業者として後継者づくりにも尽力されるなど、別府市の農業の発展に多大な貢献をされている。
たお みつのり 田尾 光則	平成22年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に務めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある際は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。
すみはら しょういち 住原 昭一	平成22年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に務めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある際は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。
ひろつ つよし 廣津 強	平成22年に別府市交通安全指導員に任命されて以来、児童・生徒を交通事故から守るために、登校時に街頭で交通安全指導を献身的に務めている。また、市の公的行事や地域の交通安全指導に要請がある際は、交通混雑がある場所で交通整理を行うなど積極的に取り組み、地域の交通安全の維持に多大な貢献をされている。
おの まさはる 小野 正春	平成22年から別府市人権擁護委員として小学校等に出向し人権教室を行うほか、別府市いじめ対策委員会委員としても積極的に活動されている。また、人権無料相談においても多くの相談を受けるなど、地域福祉の向上に多大な貢献をされている。
やの えいいちろう 矢野 栄一郎	平成22年から山の口自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成28年からは自治委員会東山地区の支部長として、5町からなる東山地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
よしの まさゆき 吉野 正幸	平成22年から北中自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和4年からは自治委員会朝日地区の副支部長として、13町からなる朝日地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
ごとう としゆき 後藤 敏之	平成22年から古市町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成26年から平成30年まで、自治委員会亀川地区の副支部長として、14町からなる亀川地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。
いとなが ようじ 系永 洋兒	平成22年から浜脇二丁目1区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、平成25年から平成28年まで、自治委員会浜脇地区の副支部長として、16町からなる浜脇地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。

功労表彰

自治部門 (つづき)

(敬称略・順不同)

<p>まつもと たかひさ 松本 多嘉久</p>	<p>平成22年から元町自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められ、町内の融和に多大な貢献をされている。</p>
<p>いのうえ たかき 井上 隆喜</p>	<p>平成22年から石垣東二丁目自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努められ、町内の融和に多大な貢献をされている。</p>
<p>たるみ たかお 樽見 孝夫</p>	<p>平成22年から野口元町2区自治委員として、住民福祉の向上や安全・安心のまちづくりに努めている。また、令和2年から自治委員会野口地区の副支部長として、7町からなる野口地区全体の地域融和に多大な貢献をされている。</p>

公共福祉部門 (12名、1団体)

(敬称略・順不同)

氏名	功績内容
<p>ほんねかい 本音會 (21代目會長 いまむら たけし 今村 武史)</p>	<p>別府八湯温泉まつりにおいて45年以上、八幡朝見神社本神輿の渡御を担当しており、本まつりにおいて欠かせない存在となっている。また、朝見神社の清掃活動や、コロナ禍において疫病除けのお札を配るなど地域の活力を取り戻すために尽力されている。</p>
<p>にしはら みつひこ 西原 光彦</p>	<p>別府市の主たるまつりの実行委員を担うなど、長年にわたり産業、スポーツ、文化等の各分野で別府市の発展に貢献され、現在では「駅前通り会」の事務局長として中心商店街の活性化に尽力されている。</p>
<p>しゅとう けいこ 首藤 恵子</p>	<p>平成24年に別府地区更生保護女性会に入会し、同時に理事に就任された。現在まで、手作りティッシュカバー作りや共同募金など、各種の全ての活動に参加されている。また、市人権講座への参加や母子生活支援施設の積極的な支援を通して、地域福祉の向上に多大な貢献をされている。</p>
<p>やまぐち せいじ 山口 誠治</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成22年に班長、平成31年に部長へ昇任し、現在、第15分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域の公民館活動や各種会合等に率先して出席し、地域住民に対しても火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>えがわ ただゆき 江川 忠行</p>	<p>平成3年に消防団員拝命後、平成13年に班長、平成22年に部長へ昇任し、現在、第2分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>

功労表彰

公共福祉部門 (つづき)

<p>おおはた よしたけ 大旗 良丈</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成19年に班長へ昇任し、現在、第2分団の班長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>あべ さだふみ 安部 定文</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成16年に班長、平成23年に部長へ昇任し、現在、第9分団2部の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>はらい きよたか 原井 清孝</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成25年に班長へ昇任し、現在、第15分団の班長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>かつき つよし 勝木 毅</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成17年に班長、平成23年に部長へ昇任し、現在、第7分団の部長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>かとう しんや 加藤 慎也</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成22年に班長、平成27年に部長、令和3年に副分団長へ昇任し、現在、第8分団2部の副分団長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>あかみね よしゆき 赤峰 善行</p>	<p>平成4年に消防団員拝命後、平成17年に班長、平成20年に部長、平成26年に副分団長、平成31年に分団長へ昇任し、現在、第9分団の分団長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>そのだ まさひろ 園田 政広</p>	<p>平成3年に消防団員拝命後、平成11年に班長、平成19年に部長、平成25年に副分団長に昇任し、団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図った。平成31年に一時退団したが、郷土愛護と社会奉仕の精神により令和2年に再入団し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>
<p>はらだ かほる 原田 かほる</p>	<p>平成3年に消防団員拝命後、平成16年に班長、平成20年に部長、平成22年に副分団長、平成25年に分団長へ昇任し、現在、女性分団の分団長として団員相互の融和に意を尽くす傍ら、豊富な経験を駆使し、部下団員の教育、訓練指導や技術の向上を図っている。また、地域住民との連携を保持し、あらゆる機会をとらえて火災予防の啓発に努め、地域住民から寄せられる信頼は絶大である。</p>

功労表彰

教育・文化・スポーツ部門（5名、1団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
<p>にしばやし ゆうじ 西林 雄二</p>	<p>昭和44年から剣道を始め、現在も別府市剣道連盟会員として在籍し、本連盟発展のため尽力されるとともに、自己研鑽にも努められている。また、別府市剣道連盟主催の少年剣道大会では役員として携わるなど、青少年の健全育成にも取り組まれており、長年にわたる剣道の普及・発展に対する功績は多大である。</p>
<p>べっぶ そうえんこせんじょうたいこ 別府 荘園古戦場太鼓 (代表 しきしま まさとし 敷嶋 正敏)</p>	<p>平成元年に荘園町内の有志により結成されて以来、地域の祭りやイベントで勇壮な演奏を披露するなど、地域の活性化に尽力されている。また、平成15年には鶴見小学校の児童を中心に「古戦場子ども太鼓」を結成し、青少年の健全育成や地域の歴史、伝統文化の継承に貢献されている。</p>
<p>みかじり まさる 三ヶ尻 勝</p>	<p>平成18年から別府市文化財保護審議会の委員として市内の近代建築の調査を行い、建物の文化的価値について専門的所見をもとに様々な場面で報告を行っている。また大分県が平成23・24年度に実施した近代和風建築総合調査においても市内の建物の調査記録等の監修を行ったほか、平成28年の熊本地震では文化財ドクターとして被災した文化財の修理方法について指導を行うなど、市の文化財保護に貢献されている功績は多大である。</p>
<p>とうない ひろみつ 藤内 広三</p>	<p>平成20年から別府市文化財保護審議会の委員として、別府市内の植生等の調査、研究を行い、また朝見神社にある県指定天然記念物のクスノキとアラカシ林の調査を行うなど植生の保護に大きく貢献されている。また、平成28年から大分県植物研究会に所属し、事務局長として大分県内の植物の調査記録や絶滅危惧種の調査を行うなど、その功績は多大である。</p>
<p>がもう けんじ 蒲生 健児</p>	<p>別府市陸上競技協会理事として会の運営、普及・発展に寄与され、陸上競技の向上に尽力されている。また、県内一周駅伝の監督・選手として17回出場し、第60回大会の準優勝に貢献され指導者としても優秀な成績を収めるなど、別府市における陸上競技の発展に対する功績は多大である。</p>
<p>かなまる かずひろ 金丸 和浩</p>	<p>別府市陸上競技協会理事長として陸上競技の普及・発展に寄与され技術の向上に尽力されている。特に協会の管理運営及び情報化の推進のためパソコンを導入し、大会及び協会運営の効率化を図った。令和元年から別府湯けむり健康マラソン大会実行委員会の事務局長も兼務し、監督として4回、大分県民体育大会に出場するなど、別府市における陸上競技の発展に対する功績は多大である。</p>

功労表彰

市民活動部門（5名、1団体）

（敬称略・順不同）

氏名	功績内容
ながお 永尾 ふくやす 福康	平成10年から「道路がきれいになれば地域住民の心も明るくなる」と一念発起し、県道・市道の環境美化のため、清掃作業を実施されている。近年の稼働日は年間200日を超えており、地域の清掃活動に積極的に取り組み、環境保全に寄与されている。
にしお 西尾 けいご 恵吾	昭和58年から市内の公民館等で健康づくり講座の講師として活動され、昭和60年には別府健康体操会を設立した。39年にわたる体操教室の受講者は延べ30万人を超えている。子どもから高齢者まで幅広い層が楽しく参加できる内容となっており、別府市民の健康づくりに貢献された功績は多大である。
ほり 堀 しげお 重男	平成13年から大平山ふれあい広場の清掃や草刈り、広場外のごみ拾いなどに取り組まれている。また、広場内の花壇に花を植え、丁寧な手入れをされている。これらの活動の継続により、広場への不法投棄が減少しており、子どもから高齢者まで安心して過ごせる場所づくりに貢献された功績は多大である。
亀川の町おこしグループ 「さんもく会」 （代表 やまのり 山則 まさゆき 正幸）	昭和60年に亀川地区内商店街の商店主が主体となって発足され、まつりの企画やマラソン大会のボランティア等多岐にわたる活動に取り組んでこられた。地域の活性化と躍進・会員の友愛と親睦という目的のもと、これまで継続して行ってきたボランティア活動によって地域に貢献された功績は多大である。
やまもと 山本 いちろう 一郎	平成12年から毎年、生産した茶を年間20キログラム、社会福祉協議会に寄贈されている。
くさの 草野 こうぞう 浩三	平成12年から毎年、生産した茶を年間20キログラム、社会福祉協議会に寄贈されている。